総合体育館整備調査業務 評価方法及び選定基準

1 選定委員会の設置

ヒアリング、企画提案書及び提案価格の評価は、総合体育館整備調査業務委託業者選定委員会(以下、「選定委員会」という。)を設置して行う。

2 評価方法

(1) 一次評価(書類審査)の実施

提案者が4者以上あった場合は、提出された企画提案書等の内容により、選定委員会において一次評価(書類審査)を実施し、二次評価(プレゼンテーション及びヒアリング)を実施する3者を選定することができものとする。また、この場合の評価は、本書「3選定基準」の各項目に基づき採点する。

なお、結果は速やかにすべての提案者に対し通知することとし、一次評価は、二次評価に引き継がないものとする。

この場合、一次評価(書類審査)の実施後、速やかにすべての提案者に対し、評価結果を通知する。

(2) 二次評価(プレゼンテーション及びヒアリング)の実施

ア 実施日時	令和6年8月26日(月) ※開始時間は提案者に別途通知する。
イ 実施場所	苫小牧市旭町4丁目5番6号 苫小牧市役所
ウ 実施方法	対面又はオンラインでのテレビ会議等による。なお、詳細な設定については、提案書提出後に事務局と十分な協議を行うこと。
エ 時間	参加者は、プレゼンテーション開始5分前までに準備を完了すること。 プレゼンテーションの制限時間は、20分以内とし、終了5分前及び1分前に事務局がベルで合図する。説明終了後、選定委員から提案内容に関する質疑応答を20分程度行う。
オ 機材	ヒアリング会場における設備は、パソコン、プロジェクター、スクリーン、マイクスピーカーを事務局で準備する。その他に必要な設備は参加者により準備すること。オンラインによる場合の提案者側の通信方法については、提案者の責任の範囲とする。
カ 説明資料	説明資料は提案書その他、申請時の提案内容に沿ったものに限り認める。

また、参加者から選定委員に対する質問は認めない。

キ 最終総合評価 プレゼンテーション終了後、選定委員会(3回目)にて最終総合評価(評点付け)を実施し、最優秀提案者を決定する。

※後日、結果を提案者に通知

3 選定基準

(1) 判定

企画提案書及びプレゼンテーション等により、別表のとおり、審査及び評価を行う。

なお、各項目の評価点数は、優れている内容から高い点数順に判定を行い、委員一人当たりの点数を280点満点とし、各委員の合計点数を提案者の得点とする。

(2) 優先交渉権者の選定

得点数が6割を超えた事業者の中から最高得点者を優先交渉権者とする。

なお、選定委員会で選定した事業者が、採用の辞退その他の理由で契約できない場合は、次点者を交渉権者とする。

同点の場合は、別表で定める「2 業務内容 (3) 建替えに向けた調査に関すること」、「(4) 現施設の改修に向けた調査に関すること」に係る項目の評価点の合計が一番高い者を優先交渉権者とする。なおも同点の場合は、選定委員会の合議により決定する。

別 表

評価項目	配点(点)
1 業務遂行能力【配点60点】	
(1)類似業務実績 ・国、北海道や他自治体において、十分な実績を有しているか。	20/15/10/5/0
(2)業務実施体制 ・業務を効果的・効率的に実施するための資格、経験、専門知識、人数等、適正な業務実施体制を有しているか。 ・本市との連絡体制が円滑に行える体制となっているか。	20/15/10/5/0
(3)業務スケジュール ・本業務を期日までに遂行できる業務計画となっているか。	20/15/10/5/0
2 業務内容【配点200点】	
(1)実施方針に関すること ・仕様書に掲げる目的及び内容を理解した上で、全体の実施方針が提案されているか。	40/30/20/10/0
(2)本市の現状・課題に対する理解 ・スポーツ施設整備計画のほか、関連計画を踏まえた提案となっているか。	40/30/20/10/0
(3)建替えに向けた調査に関すること ・業務内容が具体的かつ十分な内容か。 ・当該施設の位置づけを踏まえた内容か。 ・整備エリアの選定に向けて十分な内容か	40/30/20/10/0
(4)現施設の改修に向けた調査に関すること ・業務内容が具体的かつ十分な内容か。 ・建替えの検討と連動した内容か。 ・行政負担や施設運営が考慮されているか。	40/30/20/10/0
(5)見積額の内容 ・コスト意識を持ち、適正な積算に基づく金額か。	40/30/20/10/0
3 その他【配点20点】	
(1)その他企画提案に関すること ・仕様書に記載されている項目以外で、効果的となる提案がされているか。	20/15/10/5/0
合計 280 点満点	